

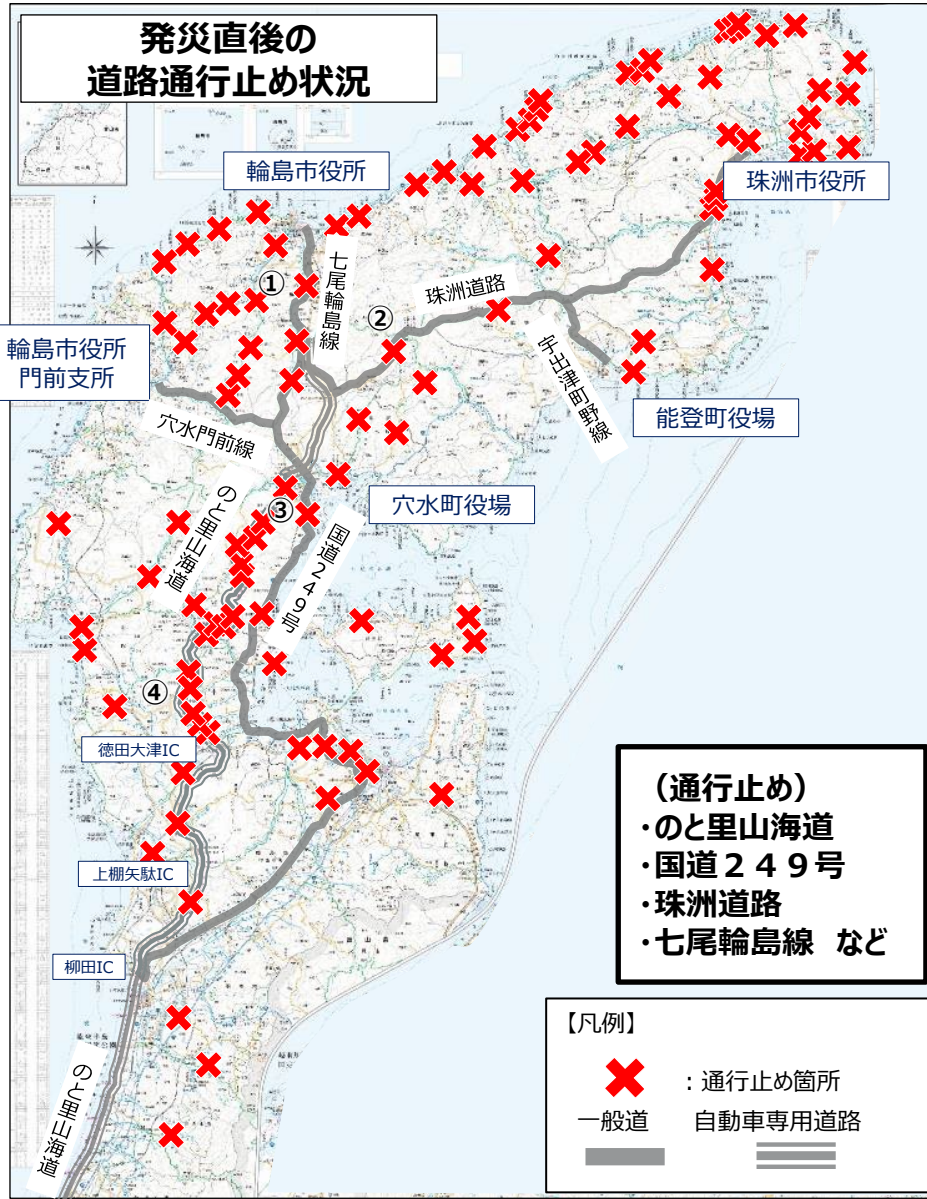
# 第47回国際交通安全学会賞贈呈式

業績部門:のとの里山の道の守人～道路緊急復旧・復興現場の声に学ぶ～

## 令和6年能登半島地震からの復旧について

令和8年4月10日  
石川県奥能登土木総合事務所

# 令和6年能登半島地震による被害（道路）



- 最大42路線87箇所での通行止め (R6/1/4 8時時点)
  - 奥能登へのアクセスルートが遮断
- ⇒ 「奥能登全体が孤立状態」(最大24地区で孤立集落発生)



① 七尾輪島線 輪島市三井町長沢



② 珠洲道路 能登町柏木



③ 国道249号 穴水町志ヶ浦



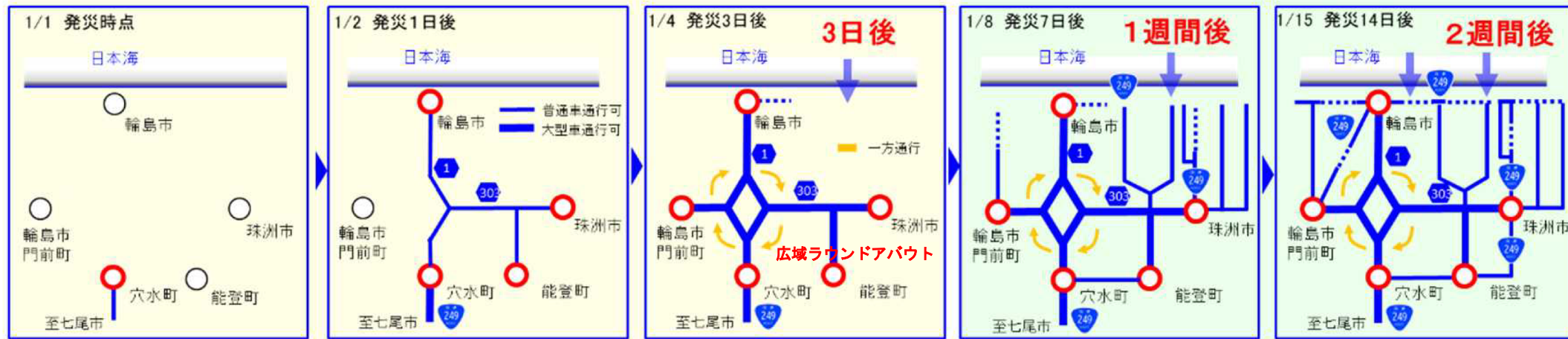
④ のと里山海道(横田IC~徳田大津JCT)

# 令和6年能登半島地震からの復旧(道路)



<孤立集落の解消に向け、県・自衛隊と連携し、陸・海・空からくしの歯状の緊急復旧を以下の手順で実施>

- 1/2 七尾市から、輪島市役所、珠洲市役所、能登町役場まで普通車での通行を確保
- 1/4 輪島市役所、珠洲市役所、能登町役場まで大型車が通行可能となり、縦軸・横軸ラインを確保
- 1/8 「くしの歯」の「歯」になる幹線道路の緊急復旧を継続し、能登半島内陸及び海側から7ルートを確認
- 1/15 日本海側へ9ルートを確認し、緊急復旧を加速。国道249号等半島内の主要な幹線道路の約9割で緊急復旧完了



発災後3日で縦軸・横軸ラインを確保

1/9に主要な幹線道路の約8割、  
1/15に約9割の緊急復旧が完了

※出典：国土交通省資料

## ○地震発災後に直面した課題・問題点

- ・通信インフラが遮断され、連絡が取れない
- ・地元建設業者が被災し、復旧活動の体制が整わない
- ・道路被害により、交通ルートが限定され、大渋滞発生
- ・資材、重機、燃料が不足
- ・生コンプラント、アスファルトプラントが被害を受け、機能停止

# 復旧資材の緊急調達（採石・土のう袋）

## ■ 発災後の初期段階では、砕石が不足

→ 各々の現場で調達せず、一括して調達



発災直後はAsプラントも停止  
砕石で擦り付けるしかない

地元の資材はすぐに底をつく

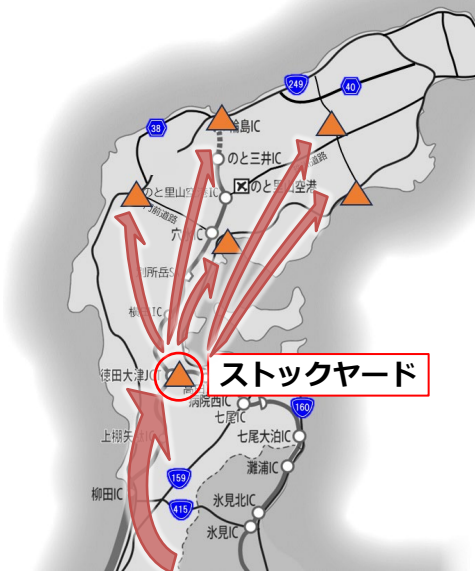
奥能登に向かう道路も渋滞し、  
現場までの材料運搬だけで多くの時間ロスが発生

県で一括購入し、中継地点（ストックヤード）を設  
け、奥能登各所の集積置き場にフィーダー輸送

※土のう袋も同様に一括調達

## 砕石の集積置き場

▲ 6箇所



金沢・加賀

橋梁での段差状況



砕石での段差擦り付け状況



砕石での段差擦り付け状況



# 道路の啓開作業（さまざまな工夫）



■ 斜面崩壊 → 応急復旧（崩土除去、大型どこのう設置、斜面手当）



■ 斜面崩壊 → 応急復旧（崩土を乗り越え）



警察立合いのもと、大型車に試験的に通行させ、通行できるか判断！

緊急性・スピード感を重視！

# 令和6年の能登半島地震からの復旧（道路）



- 地震・豪雨により広範囲に甚大な被害を受けたが、関係者のご尽力により、復旧が着実に進んでいる
- 通行止め箇所は、**大規模被害が発生した等の5路線8箇所**を除き応急復旧完了

**県管理道路  
(通行止め)**

＜発災直後＞

【地震】42路線 87箇所  
【豪雨】25路線 48箇所

＜R8.3/25時点＞

▶ **5路線 8箇所**



- 本復旧については、**奥能登2市2町へのアクセスルート**など優先度の高い路線から段階的に**工事に着手**しており、**令和8年度中に、工事発注を概ね完了**予定。

## 道路の復旧状況

七尾輪島線 輪島市三井町地内  
(法面崩落により通行止め)



本復旧工事中

